

おおたけ市議会だより

OTAKE CITY

2020
(令和2年)

No.200

2

- | | |
|------------------|-------|
| ◆第4回定例会 | 2ページ |
| ◆決算特別委員会 | 4ページ |
| ◆一般質問 | 8ページ |
| ◆審議結果表 | 12ページ |
| ◆議会日誌/3月議会日程 | 13ページ |
| ◆スマイルインタビュー・あとがき | 14ページ |



第4回 定例会

総務文教委員会 主な審査内容

●大竹市会計年度任用職員の給与及び、制度の導入に伴う関係条例の整理について

解説
会計年度任用職員制度は、地方公務員法や地方自治法の改正により、4月1日から施行される制度です。

制度移行により、これまで各自自治体で異なっていた臨時職員等の任用方法が統一され、大竹市で現在任用されている臨時的任用職員や嘱託職員についても、4月1日からは会計年度任用職員となります。

会計年度任用職員は、就業時間によってフルタイム職員とパートタイム職員に区分されます。

勤務条件は、新たに期末手当が支給されるほか、休暇についても常勤職員との均衡を踏まえて育児休業等が取得できるようになります。

Q 会計年度任用職員制度の導入により年収としては増えるが月々の収入が減ると聞く。大竹市の考えを聞こう。

A 月給は職種によって1万円から1万5000円程度減額となる場合がある。しかしその場合でも期末手当を加算すると年収では20万円程度の増額となる。

Q 増額する支出金額と財政措置について聞こう。

A 期末手当や通勤手当等を含めて約7000万円の増額を見込んでいる。国へは要望を出しているが、国や県からの財政措置があるとの情報はなく、全額大竹市の負担と見込んでいる。

Q 会計年度任用職員の採用方法について聞こう。

A 基本的に今までと同様の選考採用で、面接を行い採用する。他の市町では筆記試験を行うところもあり、採用方法について研究していく。

●「一般職の職員の給与に関する条例」「特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例」「議員報酬等に関する条例」の一部改正について

Q 特別職の職員及び議員に支給する期末手当への影響額について聞こう。

A 特別職の職員分が約13万円、議員分が約33万円、総額約46万円の増額となる。

【反対討論】

○「議員の期末手当の増額は人事院勧告に基づいているが、本来公務員を対象とするものであり、議員に適用されるものではないため反対」

【賛成討論】

○「人事院勧告に基づく大竹市の一般職の職員の期末手当・勤勉手当の改正に伴うものであり、議員にも同様に増額が必要であると考えるため賛成」

●令和元年度大竹市一般会計補正予算について

Q 幼児教育推進事業で424万円の計上があり、提案理由の中で保育料の増額が原因とあったが、増額の時期と金額を聞こう。また、預かり保育の現状について聞こう。

A 利用者が一番多い幼稚園で10月1日から教育部分の保育料について、月額2万1550円を2万5700円に増額したことによる。増額の総額は270万円である。

又、預かり保育部分の保育料も、

今回の新しい制度により、就労などで保育の必要性がある方の保育料は無償化される。40人分を当初計上していたが、10月1日時点で50人が認定されており、今後増加することが考えられるため、60人分で見込み直し154万円を補正予算計上するものである。

●その他の議案 2件

※採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



【反対討論】

○「議員の期末手当の増額は人事院勧告に基づいているが、本来公務員を対象とするものであり、議員に適用されるものではないため反対」

【賛成討論】

○「大竹市議会の魅力を高め、若い世代や優秀な人材を集める一つの手段として、報酬増も必要と考え賛成」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第4回定例会は、令和元年12月3日～12月17日の15日間行われました。
 詳細については、令和2年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

●大竹市道路占用料徴収条例の一部改正について

Q 今回の条例の一部改正により、道路占用料の収入にどの程度の影響があるか問う。

A 占用物件の種類によって、増減するものがある。

例えば第1種電柱は、年430円が年440円に増額するが、広告塔は、年1900円から年1700円に減額する。

来年度の予算における占用料の全体の収入としては微減の見込みである。

●訴えの提起について

Q 本件に係る訴訟費用は、訴えの相手方に請求できるのか問う。

A 日当や書類作成費用、申し立て費用など、一部の費用については、相手方に請求することができるが、

請求には、訴訟費用の確定の裁判などが必要になる。これらには多くの手間と労力を要するため、訴訟費用は当事者双方がそれぞれ負担するのが一般的である。

●大竹市さかえ子育て支援センターの指定管理者の指定について

Q 前回の当該施設の指定管理者の指定についての議案は、平成29年3月定例会に提出されているが、今回は12月定例会での提出である。

指定期間の始期は、いずれも翌年度の4月1日からでもあり、議案が提出される時期が異なる理由について問う。

A 指定管理者の指定についての議案は、指定管理候補者からの申請書類等が全てそろった後に、提出ができるため、状況によっては議案の提出時期が異なることがある。

円滑な施設管理を図るため、なるべく12月定例会に議案を提出できるように努めているが、前回は、事業内容等が定まるまで時間を要したため、間に合わず、3月定例会での提出となった。



さかえ子育て支援センター

●大竹市印鑑条例の一部改正について

Q 従来は成年被後見人であれば印鑑登録の申請ができなかったが、今回の条例の一部改正により、意思能力を有することが確認できれば、印鑑登録が受けられ、印鑑登録証明書が交付可能となる。

これにより、土地や建物の所有権移転など、重要な申請や契約等もできるよつになる。

大竹市としては、申請された成年被後見人の方に問題や被害が発生し

ないよう、窓口で慎重な判断・対応が必要になると思うが、考えを問う。

A 今回の条例の一部改正の趣旨は、成年被後見人であるということだけで一律に判断をせず、場合によっては印鑑登録を可能にしようとするものである。

窓口における実際の対応としては、本人と後見人の方に同席してもらったうえで説明を行い、本人の状況を確認し、意思能力が有ると判断できれば、受け付けをする。

その際は、職員において慎重かつ適切に確認し、手続きを行うよう留意したい。

●その他の議案 3件

※採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

平成 30 年度決算を審査

9月定例会において提案された、平成 30 年度各会計決算は、3日間（10月 15、17、18 日）にわたり決算特別委員会において審査され、12月 17 日本会議で全会計とも認定されました。

平成 30 年度 会計別決算額

※端数処理をしています

		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		143億8,634万円	143億3,308万円	5,326万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	34億6,620万円	34億6,170万円	450万円
	漁 業 集 落 排 水	2,746万円	2,746万円	0円
	農 業 集 落 排 水	4,157万円	4,157万円	0円
	港 湾 施 設 管 理 受 託	7,758万円	4,799万円	2,959万円
	土 地 造 成	6億2,982万円	11億6,019万円	△5億3,037万円
	介 護 保 険	25億7,829万円	24億7,419万円	1億 410万円
	後 期 高 齢 者 医 療	4億6,071万円	4億5,757万円	314万円
	合 計	72億8,163万円	76億7,067万円	△3億8,904万円
総 合 計		216億6,797万円	220億 375万円	△3億3,578万円

一般会計の概要

平成 30 年度に一般会計に入ってきたお金（歳入）と、そこから使ったお金（歳出）の差し引きは、5,326 万円になりました。

そこから平成 31 年度に繰り越した財源（平成 31 年度に実施予定事業の一部を令和元年度に行うことにしたため）4,533 万円を差し引いた 793 万円が平成 30 年度に実際に残ったお金です。

このうち、500 万円を財政調整基金（※）に積み立てました。

※年度間の財源の不均等を調整するための貯蓄



決算特別委員会での質疑（抜粋）

一般会計

●代替運行委託料について

Q 坂上線代替運行委託料、栗谷線代替運行委託料に関して年間利用者数の資料提供を受けた。最近、特に中山間地の高齢者が免許証を返納するということが、本来ならば利用者がふえるべきであるところ、過去5年間を累積して見てみると、あまり数字的には変わっていない。

A これから先を考えて、この現状を今後どういふふうに捉え、どのように取り組んでいくのか問う。

A 中山間地のバス利用者については、人口が少なくなる中で、確実に減っている。しかし、かつて民間企業が運営していたこの路線の廃止後、代替バスという形に変更し、運営しており、生活路線バスとして利用されていると認識しており、人口が減るので廃止するというわけにはいかない。実際にアンケートをしたところ、利用されている方々の満足度が高いといふふうにお聞きしており、このまま維持していきたいと考えている。

●コンビニエンスストアでの納付について

Q 賦課徴収費に関して、県税である自動車税はコンビニエンスストアで納付できるが、市税である軽自動車税は納付できない。今後、市税もコンビニで納付ができるようにならないのか問う。

A コンビニでの収納については、平成23年度に関係課で協議したが、導入のメリットとデメリットや近隣自治体の導入状況など、総合的に検討した結果、費用対効果の面から見送られた経緯がある。

A 近年、県内市町の多くが市民サービスの向上を主な理由として、コンビニでの収納を導入しており、一部の市町では収納率の上昇が見受けられた。そうしたことから、再度検討を始めており、導入費用や基幹業務システムとの連携費用等の見積を業者に依頼している。また、最近、利用が拡大しているキャッシュレス決済等による収納方法も併せて調査している。税金以外にも収納に関わる関係課も多数あり、意見を聞きながら検討したいと考えている。

●民生委員・児童委員について

Q 慢性的な、なり手不足であると聞く。現在の状況について伺う。また、民生委員・児童委員の活動報償費を来年度増額する予定があるか問う。

A 現在の民生委員・児童委員は令和元年11月末に任期満了となる。12月1日から主任児童委員を含め、68名の選任となるが、退任される方の後任について数名決まっていない状況である。地域福祉のことを考え活動していただいている方々であり、基本的にはボランティアとなる。広島県から活動費等について増額することがなければ、大きく変える予定はない。

●救急相談センターの周知方法について

Q 救急相談センターの周知方法について問う。

A 広島広域都市圏の主軸である広島市が、一括してポスターやリーフレット、啓発カードを作成した。そのうち、大竹市分として送付されたものを、市内の公共施設や医療機関等に配布した。また、民生委員に高

齢者等ハリーフレットや啓発カードを配っていただくようお願いしている。

救急相談センターの運用開始当初は、圏域内の広報事業として、中国新聞の朝刊に記事を掲載し、RCCラジオにてPRを行っている。また、圏域内や大竹市内の駅や店舗へポスターを配布し掲示をしていただいている。

市では、ホームページに内容を掲載し、市広報紙の平成31年2月号、3月号と9月号に記事を掲載した。また、子育て情報誌の中にも掲載している。

●阿多田島の水産業について

Q 行政の立場から、阿多田島の水産業をどのようにしようと考えているか問う。

A あたはハマチのレモンは、高知大学の協力を得てブランド魚の開発に取り組み、平成29年度は2000尾、昨年度は4000尾を生産し販売された。今年度は6000尾を予定していると聞いている。本市としては、広報誌や雑誌等でPRし、大竹市の特産品として今後とも情報の発信に取り組んでいきたいと考えている。

●大河原ため池から元町3丁目方面においていく道について

Q この道の扱いは何か。また、石や石垣の崩落等、非常に荒れた状態であるが、活用方法がないのか問う。

A この道は、里道のような扱いになっており、補修する場合は一般道路補修または環境整備工事等で対処しているが、資材を運搬するのもなかなか厳しく、鉄板、矢板等で橋渡しするような復旧をしているところもあり、一般の方が普通に歩けるような状況ではないというのも事実であり苦慮している。今後も維持、管理は継続していきたいと思っている。

●河川・水路改良保全事業の今後の対応について

Q 大谷川や、玖島川、大膳川などの河川で、水草等が流れを阻害している箇所がある。近年では、突然の豪雨が多く発生しており、近隣の住民から不安の声や、水草等の除去について要望を受けることがある。今後の対応について考えを問う。

A 市が管理する普通河川について

は、河川改良費の一般河川（水路）浚渫工事の予算を用いて、主に河川内の木などを伐採等しており、水の流れを阻害しないよう、対応している。

また、今年度は500万円に増額した予算を組んでおり、さらに対応を進めるよう取り組んでいる。

●大雨が降った際の対策について

Q 平成30年7月豪雨の際、秋葉川から小瀬川に放流しているパイプ管の流入口のスクリーンが、上流からの土石流で詰まり、流れてきた水が大量にあふれ、元町地区、本町地区、白石地区に流出するといった事象があった。今後、同様の大雨が降った際の対策について、取り組み状況を問う。

A 秋葉川のスクリーンの閉塞防止の対策としては、スクリーンの上部をカットして高さを低くし、土石がたまった場合に、水の流れが流路の外に流れていかないように改良している。今年度、大雨などで災害対策本部が設置等された際に、現場を確認したが、土石による大きな閉塞等は発生していない状況である。

また、広島県が改良している上流についても、早期整備を要望していく。



秋葉川のスクリーン(改良後)

●避難所の備蓄品の整備計画について

Q 台風等の災害の際、防災無線等での避難広報により自主避難された市民の方の中には、食糧や毛布を持参することが困難な方もいる。せめて毛布はお貸しできるような避難所に備蓄しておくことが望ましいが、避難所の備蓄品の整備計画について問う。

A 毛布の持参は強制するものではないが、避難所の備蓄品も数に限りがあり、西日本豪雨や令和元年の台風19号のような大きな災害により、避難者の方がたくさん来られたときは、不足するということが予想される。

こういったことを踏まえ、常日（ろから身の回りの部分については、できるだけ自分でしていただくということも含め、少しずつでも、そういったことを浸透させていきたいと考えている。ただ、取るものもとりにあえず逃げたという状況もあるので、そういった場合には、こちらで用意している毛布や食糧などで、フォローしたいと考えている。また、避難所で板の間で過ごすのは不便であるため、マット等の購入を今年度から計画的にしていきたいと考えており、予算要望をしている。

●消費税率が上げられたことにより大竹に恩恵があるのか

Q 10月1日から消費税率が10%に引き上げられたことにより、この恩恵が、大竹市にどれぐらいあるのか問う。

A 消費税率が8%から10%に引き上げられたことにより、大竹市に入ってくる地方消費税交付金は、来年度1億円近く増えると推計している。ただし、増えた分は全て幼児教育・保育の無償化に使われるため、交付税の基準財政収入額に算入されるという形になっており、大竹市単体で考えた場合に、メリットは特になくはないと考えている。

特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 漁業集落排水特別会計
- 農業集落排水特別会計
- 港湾施設管理受託特別会計
- 土地造成特別会計

●健康づくり推進事業における、特定健康診査について

Q 市民の健康の増進に向けて、どのような流れで実施しているのか、また、市民の反応と成果等について問う。

A 特定健康診査は、メタボリックシンドロームの予防に着目し、40歳以上の方を対象に実施している。

特定健康診査を受けられた方のうち、数値的に問題がある方を対象に、案内文を送付し、保健師による保健指導を受けてもらうことや、医療機関を受診されるよう促している。大竹市は広島県内で保健指導の参加率が高いほうであるが、医療機関の受診までされる方は多くはないと考えている。今後、より関心を持ってもらうため、特定健康診査の結果の見た方を学ぶ説明会の開催等を検討している。

●国民健康保険の県単位化について

Q 平成30年度から国民健康保険の県単位化が実施されているが、大竹市において、どのような影響が出ているか問う。

A 県単位化によって、県で事務手続がまとめられ簡略化された。保険証等の年度更新の事務を国保連合会に委託したこともあり、事務の効率化が図られている。また、保険料については、県が全体の医療費を推計したうえで、各市町の負担額を算出したため、各市町の医療費の増減によって、大竹市の負担が変わることはない。保険給付についても、大竹市で必要となる給付費の相当額に対しては、全て、県から交付金が支出されている。こうしたことにより、安定した財政運営に繋がっている。

●飛石港の栈橋について

Q 渡橋部分の更新計画について問う。

A 栈橋は広島県の施設であるが、漁業協同組合が大竹市へ要望していることもあり、今後も地元の要望に応えていただけるよう、広島県に要望していく。



飛石港の栈橋

●旧小方中学校のグラウンド盛土工事業未執行について

Q 工事請負費の不用額が生じた主な理由として、主要事業報告書では、旧小方中学校のグラウンド盛土工事業未執行のためとある。実際には、盛土がされている箇所があるが未執行である理由について問う。

A まとまった土が手配できれば盛土を行える。また、現在、岩国大竹道路工事で発生する土砂の一部を仮置き場として国に協力している状況

であり、工事が未執行となっている。

特別委員会で採決の結果

全会計とも認定



本会議での討論

【反対討論】

○「大願寺の負債を完済するのは、あと約10年かかる。計画の段階では、借金は残さないと強行してきたが、負債をかかえており、認めるわけにはいかない。」

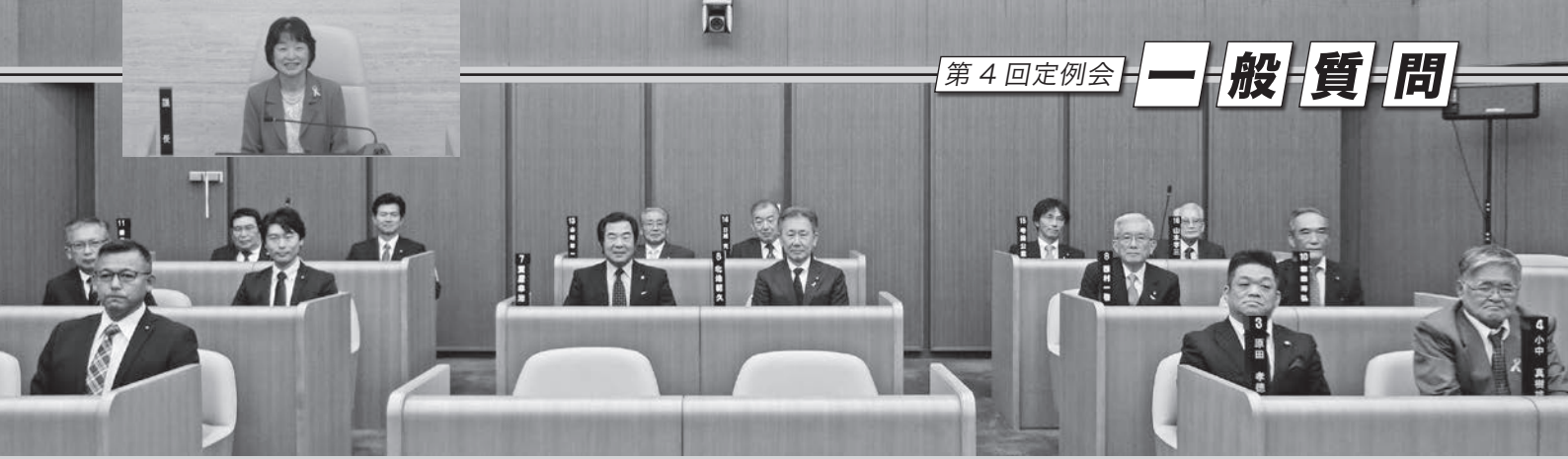
本会議で採決の結果

全会計とも認定

決算特別委員

委員長
副委員長
委員

児玉朋也 日域孝徳 原田真樹雄 小川智之 中屋幸治 賀屋一啓 西村公章 寺岡章



西村 一啓

- 第五次大竹市総合計画に基づく住んでみたいまちづくりについて

山本 孝三

- 教員変形労働時間制について
- 公立、公的病院の再編、統合について

賀屋 幸治

- 中学生以下のインフルエンザ予防接種費用の助成制度について
- 大竹中学校プール更新について

小中 真樹雄

- 小学校5、6年生の外国語教科化への対応について

山崎 年一

- 広島西医療センターを「再編・統合の議論が必要」とした病院名公表について

藤川 和弘

- 素通りのまちから立ち寄るまちに

日域 究

- 栗谷町谷和地区から出されたソーラー発電所反対の陳情の扱いについて

原田 孝徳

- 障害のあるお子さんの可能性を広げる、療育を選択できるまちづくり

③ **教育長** 教育委員会の事業方針では、芸術文化に親しみ、大竹らしさを育み、継承していく人づくりを取り組みの柱の一つとしています。歴史・伝統文化の保存・継承・活用のため、関係団体との連携や、和紙文化の保存・継承などに取り組むこととしており、西国街道ウォークなどの各種イベントを行っています。しかしながら、博物館などの新たな施設の整備は難しく、JR大竹駅

問 安全で安心して暮らせるまちづくりと住んで良かったまちづくりは、誰もがのぞむところ。本市には歴史的な文化財や史跡等もあります。これらを活かしたまちづくりの考えや計画をどのように考えているのか問う。

大竹市総合計画に基づくまちづくりについて



西村 一啓



西国街道鳴川の石畳

の整備に合わせ、情報発信の設置を検討しています。また、文化財や史跡などの案内看板の設置・更新、新たなリーフレットの作成などを計画的に行います。今後関係課や関係団体と連携し、亀居城址なども活用し、本市の歴史・伝統文化などの魅力を市内外に発信したいと考えています。



山本 孝三

公立学校教員に対する
変形労働時間制について

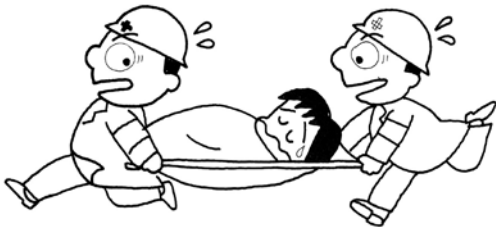
問 いまでも教員の労働時間は週55時間以上の勤務が小学校で57・8%、中学校で74・2%だといわれています。変形労働時間制が導入されると、現状を追認し、教員も更に苦しくなり児童生徒にも悪影響を及ぼすのではないのでしょうか。

答 **教育長** 変形労働時間制の導入は国会で審議中であり、動向を注視し、法令等を遵守しながら今後の運用の仕方を検討したいと考えます。あわせて、今年度策定した「学校における働き方改革取組方針」に基づき、業務改善等の取組を推進していきます。

公立・公的病院の
再編・統合について

問 広島西医療センターが再編・統合の対象とされています。市民の生命・健康を守るために果してきた西医療センターの統廃合などあつてはなりません。市長も市議会も存続・充実にむけ取り組むべきです。

答 広島西医療センターは、本市の急性期医療の基幹としてだけでなく、多様な機能・役割を持つ病院に指定されており、周辺を含む地域全体としても極めて重要な病院です。広島西地域医療構想調整会議において、本市の医療提供体制に必要なことであることを強く主張します。



賀屋 幸治

インフルエンザ予防接種
費用の助成制度について

問 インフルエンザ流行時期に入り大竹市では65歳以上の高齢者等には自己負担1500円で予防接種が受けられますがそれ以外の方は全額自己負担となります。若国市と和木町では再編交付金を使い中学生以下の子どもを対象に2500円の助成を行っています。大竹市でも同様の取り組みが出来ないかを伺う。

答 若年層のインフルエンザは、高齢者に比べ重症化の危険性が比較的低いことから、予防接種法の定期予防接種に位置づけられていません。また、来年度から新たな定期予防接種が始まり、費用増大が予想されるため、市独自の助成は難しいと判断しています。

大竹中学校の
プール更新について

問 平成30年6月定例会に於いて陳情採択された大竹中学校プール施設の撤去・建て替え等に向け現在どの様に検討されているかの進捗状況を伺う。

答 **教育長** 老朽化した大竹小学校のプール施設と一体的に整備するため、整備場所や児童・生徒の移動時の安全確保対策等を各学校・関係課と協議し、教育委員会での最適案を決定しました。

この案をもとに、学校間で格差のない学習環境を、可能な限り早期に実現できるよう取り組んでいきます。





小中真樹雄

小学5・6年生の
外国語教科化への対応を問う

問 新学習指導要領の実施される2020年4月から、小学校5・6年生に外国語(英語)が正式な教科として導入されます。現在、週1時間の英語に慣れ親しむ活動から読み書きが加わり週2時間となり、評価もされるようになります。

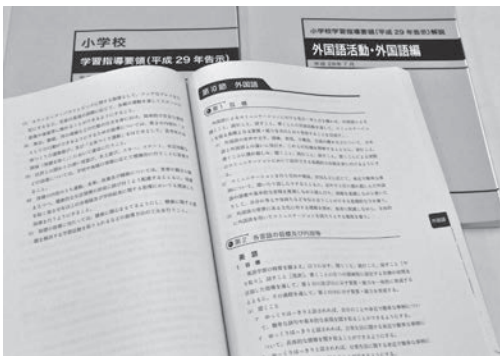
そこで、市としての教科化への取り組みをたずねます。担当教員の増員などの措置なく実施されると、現場に過重な負担を強いることになり早期教育の実効性が損なわれるのでは。5・6年生の担任に全面的にゆだねると、それだけでなく厳しい勤務実態に拍車がかかり、悲鳴を上げる人も出てくるのではないのでしょうか。担当教員の配置は必要不可欠と考えます。市としての見解を伺います。

答 **教育長** 平成30年度から先行的に新学習指導要領の内容を扱うとともに、デジタル教材の整備等も進めています。そして、外国語。パワーアップリーダーを配置し、新学習指導要領を踏まえた指導方法や教材の活用方法の研究、教材・教具の作成、研修成果の普及等を行っています。

また、外国語指導助手を配置し、学級担任とともに授業をすることで質を高め、聞くこと、話すこと、力の向上に努めています。

教員は、県の研修に参加するほか、市の研修において、新学習指導要領を踏まえた小学校外国語を理解し、小・中学校の連携の強化や、指導力・英語力の向上に取り組んでいます。

担当教員の配置は、現時点では考えていませんが、状況を踏まえ、必要に応じて検討します。



小学校5・6年の外国語教科化が盛り込まれた新学習指導要領



山崎 年一

西医療など公立病院の
再編統合問題を問う

問 厚労省の「病床機能報告」によると、大竹・廿日市圏内で病床数を2025年までに541床以上削減する計画とされています。このような計画では、地域医療が崩壊します。「地域医療を守る」立場から市長の想いを伺います。西医療が再編統合の対象病院として公表されたことは、患者・地域住民・病院関係者にとって大きなショックです。身近な医療機関が再編や縮小となれば、高齢者や交通弱者にとっても問題です。

地域住民の不安解消の取り組みを問う。誰もがどこでも安心して医療が受けられる体制を築くことが必要です。厚労省に対し「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等」の名簿の撤回を求めるときと考えるがいかがか。

答 厚生労働省は、「今回の公表は、各医療機関が担う急性期機能や必要な病床数等の再検証のためであり、必ずしも医療機関の統合を決めるものではない」としています。

全国一律による分析だけでは判断し得ない診療領域や地域の実情に関する知見も補い、地域医療構想の議論の活性化を期待してのものです。

市民の皆様の不安を解消するため、広島西地域医療構想調整会議において、「広島西医療センター」は、大竹市の医療提供体制には必要不可欠である」との考えをしっかりと主張します。また、医療や介護が必要のない「元気な高齢者」を増やす取り組みや、身近な地域で医療・介護のサービスを受けられる「地域包括ケア」の体制整備等も併せて、市民の皆様が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、一体的に取り組んでいきます。



診療科目や病床の削減が検討される西医療センター



藤川 和弘

大竹市を素通りのまちから
立ち寄るまちに

問 世界文化遺産の宮島は、廿日市市の調べで、平成30年の来島者数が456万5732人で過去最多でした。岩国市の観光客数は、平成29年岩国市観光振興課の調べで、332万9275人です。その内の47・59%の方が、広島・宮島から岩国へ、もしくは岩国から広島・宮島に移動しています。データから、約150万人の方が大竹市を通過していることがわかります。移動手段の多くは、乗用車・二輪車です。

大竹市の知名度を上げ、観光客数を上げ、大竹市を素通りのまちから立ち寄ってもらうまににするために、本市はこれまでにどのような取り組みをしてきたのか、現状をどうお考えなの

か、これからのような取り組みをしていくのかを伺います。

答 本市は蛇喰盤や三倉岳などの自然環境に恵まれ、沿岸部には晴海臨海公園や史跡などの観光資源も点在しています。そのため、広島・山口県など近隣の方を主なターゲットに、市ホームページや観光パンフレットなどでPRしています。本市の観光客数は増加傾向で、平成30年度の観光客数は約43万人となっています。

にぎわい創出としての小方地区のまちづくりは、市全体の活性化の起爆剤となるよう、遊休地を効果的に活用したいとの思いがあります。

新駅や道路整備など、実現には関係機関等との調整等が必要ですが、晴海臨海公園や亀居公園など周辺の観光資源と連動させ、市外・県外からも、市民の皆様にも喜んでもらえるものとなるよう取り組む考えです。



晴海臨海公園の大型遊具



日域 究

ソーラー建設反対の
陳情について

問 栗谷町谷和の自治会から大規模太陽光発電所建設反対の陳情が出されました。地元の開発同意があつた大野嵐谷の件ですら悲惨な状態ですが、地元が大反対の谷和はさらに大変だと思

います。①大竹市は開発の許可権者ではありませんから、市民の命と財産を守るといふ姿勢で対応しますか。②嵐谷では廿日市市からの最初の問い合わせに「意見なし」と答えた大竹市ですが悲惨な現状の感想を尋ねます。③地元の反対を無視して着工すれば未完成で放置される恐れもありますがお考えを。④嵐谷の例では、怖くて工事の様子が聞けないことも地元不安の原因でした。立入を認める様に意見ができますか。⑤資本金11万

円の会社では事業失敗時の処理が不安。担保が必要では。

答 市の対応として、市民の生命と財産を守ることは行政の大原則と考えています。許可権者（広島県）の照会には、環境汚染の防止等について開発事業者を指導していただくようお願いしました。

嵐谷は、許可権者の廿日市市から開発業者が土砂流出対策工事をしていると聞いており、森林の持つ公益的機能の大切さを認識しています。放置の恐れについては、開発許可申請には誓約書が添付され、事業計画書どおり施工すること、隣接地等に被害を与えた場合は、損害の補償と完全復旧することが明記されています。開発事業者には責任を持って対応してもらいたいと考えています。

立入については、市として必要な事態が生じたときには、県に同行させていただくなどの申し出をし、地区住民の皆様への不安軽減に努めます。



着手後3年を経た
大野嵐谷開発の今



原田 孝徳

療育を選択できる街づくり

問 放課後等デイサービス（以下、放デイ）は近年急増したが、廿日市市には23施設あるのに対し、本市は2施設。単に数字だけ見ても放デイは不足しているし、障害をお持ちのお子さんや親御さんにとって、十分な療育環境が整っていないことで、他市に人口が流出する可能性が危惧される、と考えるがどうか。

本市の場合、療育の選択そのものができない現状にあるため改善する必要があるが、事業所を増やす、という考え方はなく、療育を選択可能にする、という発想に転換をすることで、将来社会に出たとき必要なスキルを一つでも多く身につけることができるし、それが共生社会の実現に向けた後方支援体制の確立にもつながる、と考えるがどうか。



答 本市の放課後等デイサービス利用者は38人で、市内の2事業所の定員は20人のため、半数の方が市外事業所を利用しています。現状からは不足しているように見えますが、利用者が集まらず廃止した事業所もあり、事業所が増えれば必ずしも市内の事業所を利用する人が増えるものではありません。

また、利用者の生活の主は学校であり、市外事業所でも送迎があるため、事業所が少ないことが人口流出に直結するものではないと考えます。しかし、市内に事業所が増えれば利用者の選択肢が広がり、障害児に対するプログラムや療育サービスの体制が整えられることは大変喜ばしいことと考えます。

来年度、障害福祉計画を策定する際に、アンケートなどで利用者や家族の御意見を伺いたいと思います。

第4回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	細川雅子	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	賀屋幸治	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	寺岡公章	山本孝三	審議結果		
認第5号 平成30年度大竹市一般会計決算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案認定	
認第6号 平成30年度大竹市国民健康保険特別会計決算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案認定
認第10号 平成30年度大竹市土地造成特別会計決算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案認定
認第11号 平成30年度大竹市介護保険特別会計決算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案認定
議案第58号 訴えの提起について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第68号 令和元年度大竹市一般会計補正予算（第3号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年決議案第4号 議長不信任決議について	-	無記名投票を実施 賛成4、反対11															原案否決		

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 一：議長 ○：賛成 ●：反対

令和元年決議案第4号 議長不信任決議について

【提案理由】

議長の議会運営は、委員会付託を理由に本会議場での議員の発言権、質疑権をはく奪、会議規則 21 条及び 37 条にも違反し、議会の混乱をまねいた責任は重大であり、議長に謝罪を求めるとともにその職を退くべきである。

【反対討論】

- 「本市議会は委員会中心主義をとっており、異議がある場合は委員外発言という方法もある。」
- 「議長は、会議規則に基づいた運営をしており、中立性、公平性を欠くものではない。」

【賛成討論】

- 「質疑の後、委員会に付託する、となっている会議規則に基づいた運営がなされるべきである。」
- 「委員外発言は、質疑を権利として認めているのではなく、委員会が発言を許す権利を認めているもの。」

議会日誌

11月～1月

- 11月 6日 全国市議会議長会理事会、全国市議会議員互助会代議員会（東京都）
7日 常任委員会管内視察
生活環境委員協議会
18日 広島県市町村事務組合議会定例会（広島市）
19日 議会改革特別委員会
20日 総務文教委員協議会
総務文教委員政策研究会
各派代表者会議
26日 議会運営委員会
12月 3日 本会議
4日 本会議
広報広聴特別委員会
5日 総務文教委員会
6日 生活環境委員会
9日 基地周辺対策特別委員会
議会改革特別委員会

- 17日 議会運営委員会
本会議
議会改革特別委員会
25日 広報広聴特別委員会
令和2年
1月 8日 広報広聴特別委員会
14日 生活環境委員協議会
生活環境委員政策研究会
総務文教委員政策研究会
16日 広島県市議会議長会議員研修会（廿日市市）
18日 基地周辺対策特別委員会との意見交換会（阿多田）
20日 議会改革特別委員会
22日～24日 生活環境委員会先進地事例調査研究（高松市、南国市、三豊市）
28日～30日 総務文教委員会先進地事例調査研究（枚方市、箕面市、池田市、八尾市）
29日 全国市議会議長会基地協議会（東京都）
30日～31日 石油基地防災対策都市協議会役員会（青森市）

【視察来訪】

- 令和元年
11月13日 長崎県松浦市議会
「地域公共交通網形成計画について」



3月議会日程（予定）	
本会議	3月3日（火）
常任委員会	3月3日（火）
〃	3月4日（水）
特別委員会	3月5日（木）
本会議	3月10日（火）
〃（予備日）	3月11日（水）
予算特別委員会	3月16日（月）
〃（予備日）	3月23日（月）
本会議	3月27日（金）

議事を傍聴しませんか

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

第27回のインタビューは、「さわやかコーラス」代表 魚原政見さんです。



第27回 スマイル インタビュー



サークル結成はいつで、そのきっかけは？

1986年4月発足です。生涯学習講座の一つとしてコーラスを通じて交流でお互いの絆を強め、充実したシニアライフを送るのが目的です。



団員数と活動状況は？

1月10日現在、団員は57人（男性11人、女性46人）で平均年齢78歳。講師は指揮が山下徹さん、ピアノ伴奏が山下千佳さん。毎週金曜日13時30分〜15時30分に練習。各種コーラスイベント参加のほか、市内福祉施設でのボランティア活動もしています。

これまでの特筆すべき成果は？

1989年、広島国際会議場フェニックスの柿落とし出演のほか、県民文化祭では、2001年に優秀賞、1995、2019年に特別賞を受賞しました。

活動に対する会員の思いは？

さわやかコーラスで、実年齢の7掛けの気持ちで人生を楽しみ「生涯現役」「生涯感動」「生涯青春」を motto にしています。

今後の目標は？

来年は35周年を迎えるので記念コンサートを開催できれば。チャンスを生かし、市外での合唱祭などにも積極的に参加したいです。



さわやかコーラスのみなさん

あ と が き

大竹市議会は新しい議員構成で新年を迎えました。

昨年末、試行段階であった議会のタブレット導入が本格運用されることとなり、今年からは議員活動においても使用することができるようになりました。

このことにより、市民の皆様へ説明する際など、確実にわかりやすい情報の提供が可能となり、議員活動にも有効に活用することができます。また、本会議場や委員会室における議会運営においても、ペーパレス化を追求した大きな変化をもたらしています。

さらに、活発で魅力ある議会を目指し、議員間で意見を出し合う「自由討議」の導入、インターネットを活用し、分りやすく親しみやすい情報発信の充実に努めるため、具体的な検討に入ろうとしています。

本年は、活発な議論や魅力ある議会活動の方法を具体的に検討し、市民の皆様に関心を持っていただけるよう、議会改革に取り組んでまいります。時代の流れを敏感に感じ取りながら、議員間で学びを深めてまいりますので、皆様の厳しい目で見守りいただきますとともに、様々なお声をいただきますよう、本年もよろしくお願いいたします。

広報広聴特別委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 北地 範久 |
| 副委員長 | 小田上 尚典 |
| | 藤川 和弘 |
| | 原田 孝徳 |
| | 小中 真樹雄 |
| | 中川 智之 |
| | 日域 究 |

発行・令和2年2月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1 TEL 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。